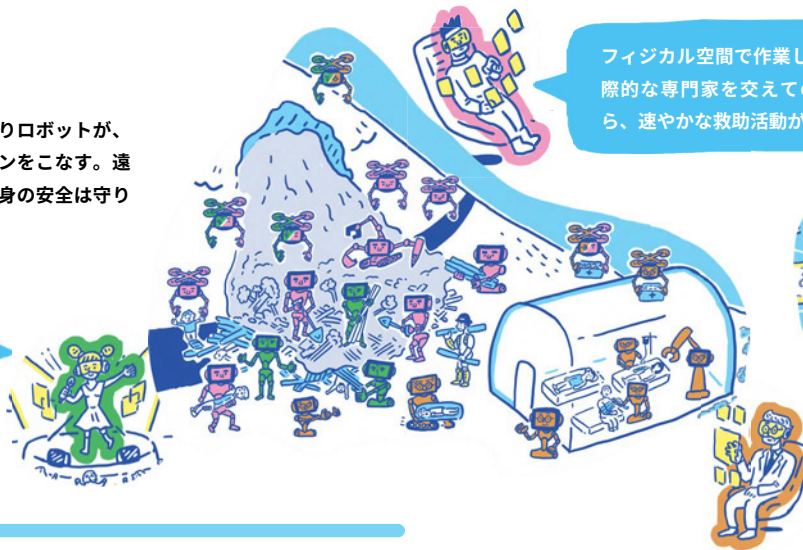


2050年のサイバネティック・アバター生活

シーン1 災害救助

複数の人が操作する千台以上の身代わりロボットが、災害現場など大規模で複雑なミッションをこなす。遠隔地のプロフェッショナルが、自分の身の安全は守りながらいち早く救助を行う。

アイドルにもなりたいし、災害救助の現場でも働きたい！サイバネティック・アバターのおかげで二足のわらじも当たり前！



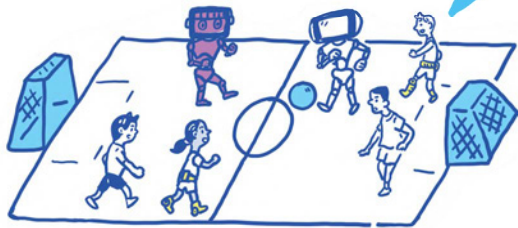
フィジカル空間で作業しながら、サイバー空間では国際的な専門家を交えての対策会議にも参加できるから、速やかな救助活動ができる！

複数の身代わりロボットを同時に操作して、多くの負傷者を一度に診ることができる！

シーン2 みんなで楽しむスポーツ

サイバネティック・アバターがあれば、年齢や住んでいる場所に関係なく一緒にスポーツを楽しめる。

今日は海外のプロ選手がお忍びで参加してくれた！足が不自由な僕もサイバネティック・アバターを使えばプロの動きについていける！



シーン3 欲張りな休日

早朝は身代わりロボットで登山をしてご来光を仰ぎ、午前中はサイバー空間で有名ピアニストによるレッスン、午後はお気に入りのアイドルのライブに参加！

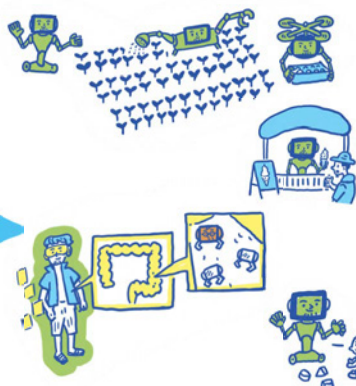


全部、ビーチでのんびりしながらできるから、心も体もリフレッシュ！



シーン4 アバターで守る健康長寿

体内に取り込んだナノアバターで病気の予防や治療を行うことが可能に。健康寿命が伸び、高齢者も生き生きと活躍できる社会になる。



身代わりロボットのおかげで農作業がどこにいてもできるようになり、去年始めた野菜のジェラート屋も軌道に乗ってきた。遠方に住む孫とも会いたい時に会えるし、毎日が充実している！

シーン5 クリエイティビティを最大に

大規模な作品も、身代わりロボットを使えば芸術家自身の手で作り上げることが可能だ。サイバネティック・アバターを複数のユーザーが同時に操作することもできる。



今回の作品は、建築家とのコラボレーション。師匠の感覚を脳にインストールして、自分のアイデアと融合させることで新しい表現に挑戦だ！